

空気の汚れの正体は？

「窓を開けて教室の空気を入れかえよう」と言われたとき、「寒いからやだ!」と思う人はいませんか？

でも、汚れた空気の中にいると、ぼんやりして勉強に集中できなくなったり、かぜが流行する原因になったりします。

今日は、空気の汚れの正体をさぐってみましょう。



「空気の汚れ？
大丈夫だよ！」
… それ、本当？

空気の汚れの1つめは、二酸化炭素。

私たちは、酸素がいっぱいのきれいな空気を吸って、二酸化炭素の多い空気をはき出しています。

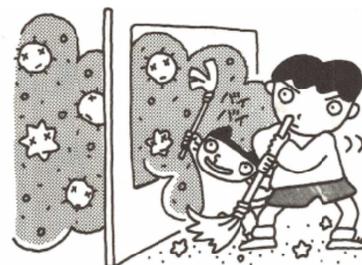
人がたくさんいる部屋では、ときどき空気を入れかえないと、酸素がどんどん減って、二酸化炭素ばかりになってしまいます。



人の吐いた息で
部屋の空気は
だんだん汚れます

空気の汚れの2つめは、ホコリ。光のあたるところで、細かいホコリがふわふわ浮かんでいるのを見たことがありますか？

細かいホコリなどのハウスダストは、アレルギーの原因になります。とくに、ホコリが舞い上がる掃除のときは窓を開けましょう。



そうじのときは
窓を開けて
ほこりを外に
出しましょう

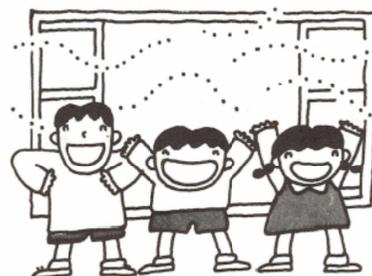
空気の汚れの3つめは、バイキン（細菌やウイルス）。

空気の中には、ホコリと同じように、バイキンもふわふわ浮かんでいます。



ほこりと一緒に
バイキンも
空気の中に
うかんでいます

教室の上に小さい窓があるので、廊下側と外側の2カ所を対角線上（ななめ）に約20cm開けると、効果的に換気できます。



窓を開けて
いつもきれいな
空気でお過ごしね